

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 7 月 25 日 (2013.7.25)

【公表番号】特表 2012-530459 (P2012-530459A)

【公表日】平成 24 年 11 月 29 日 (2012.11.29)

【年通号数】公開・登録公報 2012-050

【出願番号】特願 2012-516138 (P2012-516138)

【国際特許分類】

H 0 4 B 10/2581 (2013.01)

【F I】

H 0 4 B 9/00 2 6 8

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 6 月 6 日 (2013.6.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

通信ネットワークに用いられる多モード光ファイバーの選択の方法において：複数の多モード光ファイバーの異なる半径を通り進むパルスのピーク遅延の測定と；各多モード光ファイバーの第 1 の半径でのピーク遅延を各多モードファイバーの第 2 のより大きい半径でのピーク遅延からの減算と；第 1 の半径でのピーク遅延を第 2 の半径でのピーク遅延から減算した結果が負の数である光ファイバーの通信ネットワークでの使用の為の選択とを備える方法。

【請求項 2】

前記第 1 の半径が 5 μm で前記第 2 の半径が 19 μm である請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 1 の半径が 5 μm で前記第 2 の半径が 20 μm である請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記第 1 の半径及び前記第 2 の半径が 14 から 15 μm 離れている請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

通信ネットワークに用いられる多モード光ファイバーの選択の方法において：複数の多モード光ファイバーの異なる半径を通り進むパルスのパルス遅延の測定と；各多モード光ファイバーの第 1 の半径でのパルス遅延を各多モードファイバーの第 2 のより大きい半径でのパルス遅延からの減算と；第 1 の半径でのパルス遅延を第 2 の半径でのパルス遅延から減算した結果が負の数である光ファイバーの通信ネットワークでの使用の為の選択とを備える方法。

【請求項 6】

前記第 1 の半径が 5 μm で前記第 2 の半径が 19 μm である請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記第 1 の半径が 5 μm で前記第 2 の半径が 20 μm である請求項 5 に記載の方法。

【請求項 8】

前記第 1 の半径及び前記第 2 の半径が 14 から 15 μm 離れている請求項 5 に記載の方法。